

宮城県地方税滞納整理機構通信

納めLINE

平成30年度
第4号

納めてください(標準語)
納めらいん(宮城の方言)
納めLINE(通信紙名)

機構活動状況

平成30年11月末現在

11月、12月は「宮城一斉滞納整理強化月間」です。機構でも日々、徹底した財産調査に基づく差押や捜索などの滞納処分に取り組みました。

さて、平成30年11月末現在の徴収状況についてご報告します。徴収率は31.57%で、前年度同期よりも低くなっておりませんが、今年度から事案入替制を導入し、10月に約百件を新規引受したことが大きな要因となっております。今後も事案ごとに適切な対応を行い、徹底した財産調査・滞納処分により、目標の徴収率40%を目指して滞納整理を進めてまいります。

	平成30年度	平成29年度	前年度同期比
引受件数（件）	575	806	▲231
引受税額（千円）	512,667	675,811	▲163,144
徴収済額（千円）	161,844	252,252	▲90,408
徴収率（%）	31.57	37.33	▲5.76

4市町合同公売会

平成30年11月10日（土）に亘理町中央公民館を会場に、4市町合同公売会が開催されました。

今回の公売会は、4市町（名取市、岩沼市、亘理町、山元町）と県仙台南県税事務所が、宮城一斉滞納整理強化月間の十一月に開催したものです。公売会では原付バイクや大型テレビなどが出品され、それら動産に見積価格を設定し、買い取り希望価格を入札する「入札方式」で行われました。初めて開催された昨年度より来場者数は減りましたが、買受代金総額は15万円ほど上回りました。来場された方々は、普段あまり経験されな「入札」を楽しんでいる様子が見られました。

出品数	61品
合計落札数	56件
落札率	91.8%
買受代金総額	437,994円
来場者数	131人

機構職員のヴォイス

春から派遣職員として県で働き始め、気付けば今年も終わりを迎えようとしている。「あっとい間」と言えばただ過ぎ去ったように聞こえるが、自分にとって大変中身の濃い時間を過ごしてきたと感じている。

今年度から滞納整理に携わることになった私は、税の知識がまるでなかった。また、今まで経験した部署は窓口を持たず、住民と直接話す機会もそう多くはない。派遣当初は戸惑いと不安が気持ちの大部分を占めていたと思う。「自分に務まるのか」そういった思いを抱いて業務がスタートした。しかし、不安はすぐ



↑公売会当日の様子

に解消された。同じく他市町から派遣された心強い仲間が存在である。私と同様に税務経験がない中で派遣された者もあり、不安な思いを共有できたことが大きかった。皆で学び、皆で考え、そして助け合い、滞納整理という一つの目標に向かってお互いを高め合える関係を築いた。私にとって、この仲間が派遣されたことで得ることができた最大の財産だろう。

今年度も3か月余り。残り少なくなった日々だが、機構職員一丸となって、滞納者を一人でも多く優良納税者へと導けるよう精進していきたい。

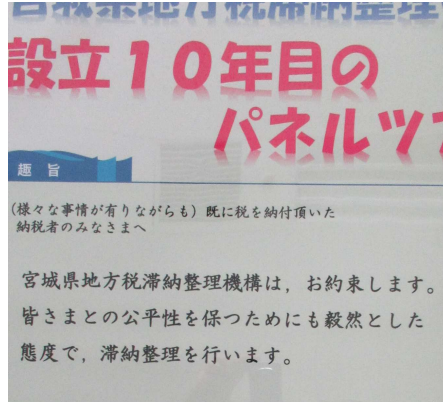
市町村パネルツアー開催中

前号でお知らせいたしました、機構の組織やこれまでの活動等を紹介する設立10年目パネルツアーについては平成30年11月12日より始まり、現在まで県庁、10市町村、1県税事務所での展示を行いました。年明け後も3月下旬まで12市町、6県税事務所を巡回し展示を行ってまいります。

パネルツアーに出会った際には、是非ご覧いただき機構についてのご理解を深めていただければ幸いです。

宮城県と市町村では、宮城一斉滞納整理強化月間の一環として、滞納者から差し押さえた動産等をインターネット（Yahoo!官公庁オークション）で公売を行いました。インターネット公売は、日本全国から24時間アクセスが可能な利便性を活かし、滞納額の圧縮、納税意識

宮城県市町村合同 インターネット公売



↑パネル一部拡大写真



↑パネルツアー展示風景
(栗原市役所)

滞納者は妻と二人でアパートに居住している。度々訪問するも不在で、差置文書を投函するも反応が無かった。滞納者の実家を訪問するが、こちらも不在であった。ただ、内偵を重ねた結果、滞納者の動向に関する情報を得ることができた。実家には滞納者の祖母が住んでおり、毎朝滞納者が世話をしているとのことだった。滞納者と接触するために早朝

市税滞納額約70万円の40歳男性宅への搜索の記録である。滞納者は市からの呼び出しにも応じず、収入先が不明で生活実態が全く掴めないことから、滞納整理機構に移管されることとなった。機構で徹底した預金調査を行うも、目立った動きのある口座を発見できなかった。収入先を掴むために搜索を行うことを視野に入れて調査を進めた。

実録！ 搜索レポート

合同インターネット 公売落札状況		4県税事務所 6市町
出品団体数	25件	
動産	落札率	68.00%
	落札額	222,105円
不動産	出品数	13件
	落札率	15.40%
	落札額	190,500円

の改善などを促していくと、活用されています。



搜索に臨む直前の徴税吏員達

に訪問する必要があると判断した。搜索日、午前7時に滞納者自宅を訪問。妻が困惑した表情で扉を開けた。滞納者を呼んでもらい搜索を行う旨説明。ただちに完納しなければならぬことを理解した。しかし、滞納者自身は実家に行かなければならないとのことだったので、妻を立会人に搜索を開始した。部屋の中にはブルーレイ再生機やテレビがあったが、妻が自分の所有物だと主張。妻所有の動産と証明できないので差押することを伝えると、今日中に完納するから持つて行かないで欲しいとの申出をしてきた。申出に対しての回答は保留にし、搜索を継続すると、現金3万円を発見。現金のみを差し押さえて搜索終了。滞納者も帰宅したので、当日中

の一括納付の誓約書を提出させた。滞納者は妻が金策すると言ったことに反発するも、妻から諭され納付することを了承し、当日に全額納付された。

滞納の原因は収入が安定していないのが要因の一つだった。滞納者の生業は運転代行業だが、知人から連絡を受けて仕事が入るといふ不安定な勤務形態。しかし、一番の要因は納税意識の希薄さだと言わざるを得ない。搜索を受けてはじめて、事態の重大性を認識したと思われる。納税意識の低い滞納者に対しては、考えを改めさせるきっかけとしても、搜索は有効な手段であると感じた。

ご意見・ご要望はこちらへ

宮城県地方税滞納整理機構
(宮城県総務部地方税徴収対策室内)

徴収第2グループ
〒980-8570
宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号
TEL 022-221-6681
FAX 022-221-2289
徴収第1グループ
〒987-0511
登米市迫町佐沼西佐沼1500-5
TEL 0220-41-0043
FAX 0220-22-8162
http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/choutai/

